



## 【取組内容】

- IT分野のジェンダーギャップを解消し、ジェンダー平等と経済成長等につなげるため、**(1) 女子生徒へのIT教育・エンパワーメント、(2) 親世代への啓発活動、(3) 政策提言**を実施。
- IT分野の職業への興味を高めて意欲を持続**させ、ロールモデルとの交流でキャリアプランを描くこと、女子生徒の理工系進路選択に影響を与える**周囲の理解を促進**すること、男女共同参画に関する目標達成により**IT分野のジェンダーギャップを解消**すること等を目指す。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により集合型のイベント中止が相次ぐ中、ワークショップや講演会をオンラインに切り替え、**日本全国や海外在住の日本人女子生徒とのつながりを構築・維持**。

## SDGs実施指針における実施原則 (本アワード評価基準)

普遍性：	IT分野への女性進出は多くの国や企業にとっての課題。オンラインでの活動が中心であるため、遠隔地含む国内外での展開が可能。
包摂性：	オンライン中心での活動により、首都圏だけでなく、地方も含めた日本全国の女子生徒や社会人向けに取組を実施できている。
参画型：	IT分野を希望する女子生徒同士やロールモデルとのつながり作りを支援。大手IT企業や公益財団法人等とも連携。
統合性：	女性エンジニアによるイノベーション創出、男女の賃金格差縮小、ITを用いた社会課題（災害時避難、フードロス等）解決等に貢献。
透明性と説明責任：	取組をウェブサイトやSNS等で公開し、メディアでも活動が紹介されている。寄付者には毎月メールマガジンで活動を報告。

